

常にゆるぎないインテグリティと人権の尊重

NECは、Principlesに「常にゆるぎないインテグリティと人権の尊重」を掲げ、役員・従業員の一人ひとりがコンプライアンスを自分事として最優先に認識し、Code of Conductに基づいた行動を日々実践することで、コンプライアンスをNECの企業文化にすることを目指しています。

また、コンプライアンス違反を含む、NECの事業に影響を及ぼすリスクを適切に把握し、効果的・効率的に対策を講じるリスク・マネジメントを行っています。

2019年度は、本ページで紹介する4つのリスクを「重点対策リスク」として選定し、2020年度は、「海外子会社における会計プロセス不備に伴うリスク」「秘密情報管理に関わるリスク」「新技術に伴うプライバシー侵害に関わるリスク」「ハラスメントに関わるリスク」を重点対策リスクとして選定し、対策を講じています。

2019年度の重点対策リスク


- 1 労務管理に関わるリスク
- 2 新技術がもたらす人権問題に関わるリスク
- 3 贈収賄に関わるリスク
- 4 情報セキュリティに関わるリスク

労務管理に関わるリスク

NECでは、柔軟な働き方の実践と過重労働の防止および休暇取得促進について、各国の関連法制度を遵守し、労使双方が協力して取り組んでいます。

2019年4月には、「労働基準法」の改正に対応するため、勤務管理システムを更新しました。労働時間の適切


な把握と時間外労働時間の厳格な管理を行い、労働時間に起因する事故などが起こらないよう潜在リスクを早期に把握し、必要に応じて対策を講じる仕組みを設けています。

 詳しくはサステナビリティレポート2020「多様な働き方への環境づくり」をご覧ください。

新技術がもたらす人権問題に関わるリスク

成長戦略に位置づけられる生体認証事業に関連する提案や開発の段階に、「人権の尊重」が反映されているかをチェックするプロセスを組み込むなど、社内制度の整備とその改善に取り組んでいます。


また、Web研修や勉強会、有識者会議を開催し、事業活動において人権を尊重した適切な行動が取れるように努めています。

 詳しくはサステナビリティレポート2020「AIと人権」をご覧ください。

贈収賄に関わるリスク

当社では、「事業部等のための贈収賄防止マニュアル」を策定し、担当事業・業務の贈収賄リスク評価、当社の事業運営のために起用する第三者のデュー・ディリジェンスなど、贈収賄を防止するために事業部門長が果たすべき役割および具体的方法について定めています。2019年度は、


「時間の経過とともに起用業者や共同行為者に関するリスクも変化する可能性があるため、継続してモニタリングを行うことが重要である」旨を同マニュアルに追加するなど、改正を行いました。

 詳しくはサステナビリティレポート2020「公正な取引の推進」をご覧ください。

情報セキュリティに関わるリスク

情報セキュリティの脅威は日々変化しており、ITで高度化された社会において、情報セキュリティはサイバーセキュリティとともに当社の重要な経営優先テーマ「マテリアリティ」となっています。

NECでは情報資産を守るための取り組みとして、サイバー攻撃対策、セキュアな製品・システム・サービスの提供、お取引先と連携した情報セキュリティを推進しています。

 詳しくはサステナビリティレポート2020「情報セキュリティとサイバーセキュリティ」をご覧ください。